

2011年度大学博物館等協議会 館長会議 議事録

日 時：平成23年6月23日（木）16：45～17：40

場 所：名古屋大学東山キャンパス 野依記念学術交流館 1F会議室

出席校：北海道大学総合博物館、弘前大学白神自然環境研究所、岩手大学ミュージアム、東北大学総合学術博物館、秋田大学大学院工学資源学研究科附属鉱業博物館、山形大学附属博物館、東京大学総合研究博物館、東京藝術大学大学美術館、東京海洋大学海洋科学部附属水産資料館、新潟大学旭町学術資料展示館、信州自然誌科学館準備委員会、富山大学和漢医薬学総合研究所民族薬物研究センター民族薬物資料館、金沢大学資料館、静岡大学キャンパスミュージアム、名古屋大学博物館、京都大学総合博物館、大阪大学総合学術博物館、広島大学総合博物館、香川大学博物館、愛媛大学ミュージアム、九州大学総合研究博物館、宮崎大学農学部附属農業博物館、鹿児島大学総合研究博物館、国立科学博物館、国立民族学博物館文化資源研究センター

陪席者：名古屋大学博物館、九州大学総合研究博物館

議事は、大学博物館等協議会副会長の名古屋大学吉田館長を議長として進められた。

議題1. 2010年度決算、2011年度予算（案）について

2010年度決算及び2011年度予算（案）について、協議会事務局から配付資料に基づき説明があった。また、決算書については東京藝術大学大学美術館関館長から監査報告がなされ、原案どおり承認された。

なお、議長から、繰越金が増加傾向にあるため有効使用を検討したい旨の説明があった。

議題2. 次期協議会開催校について

議長から、京都大学にて開催をお願いしたい旨の発言があり、これを了承した。

次期協議会開催校の京都大学大野館長から、開催日を平成24年6月21日(木)・22日(金)に予定している旨の挨拶があった。

議題3. 平成23年度からの会長校について

議長から、平成23年度の会長校は名古屋大学に、副会長校は鹿児島大学及び大阪大学に、監査校は東京藝術大学にそれぞれお願いしたい旨諮られ、これを承認した。

なお、会長校が8大学で一巡した後の役員については、8大学で固定せず会員の互選

により選出することも一つの選択肢としたい旨の発言があり、これを了承した。

議題4. 大学博物館等施設の現状把握とその改善に向けた取り組みについて

北海道大学津曲館長から、2006年の協議会アピールから5年を経過したが、多くの大学博物館等施設で改善が図られたとは言い難い現状にある。また、東日本大震災で地域博物館の学術標本資料が被災したことから、大学博物館の使命として学術標本資料を適切に収納・管理することが重要であり、協議会として文部科学省等へ働きかける取り組みが必要であるとの説明があった。

続いて、議長から、年1回の館長会議では時間的制約があるので、これらの検討については協議会ホームページの活用や館長によるメール会議等で継続的に議論したい旨の提案があり、これを了承した。

議題5. 名誉会員の推薦について

議題から取り下げ

議題6. 協議会からの退会について

議長から、山口大学経済学部商品資料館から教員不在で実質的に活動が行われていないため、退会の申し出があっている旨の説明があり、これを承認した。

議題7. その他

加盟館名簿の香川大学・寺林館長の所属、E-mail アドレスに誤りがあったため次のとおり修正した。

経済学部→工学研究院、@ec → @eng